



監視とレポート

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.9

NetApp
January 18, 2024

目次

監視とレポート	1
ステータス情報を表示します	1
ジョブを監視する	3
ジョブログをダウンロードします	3
レポートにアクセスする	4
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUI からサポートバンドルを生成	6
メンテナンスコンソールからサポートバンドルを生成する	7
監査ログ	8

監視とレポート

ステータス情報を表示します

vSphere Client Dashboardにはステータス情報が表示されます。ステータス情報は 1 時間に 1 回更新されます。

手順

1. vSphereクライアントの左側のナビゲーションペインで、*ダッシュボード*をクリックし、vCenter Serverを選択して、ダッシュボードペインの*ステータス*タブをクリックします。
2. 次の表に示すように、概要のステータス情報を表示するか、リンクをクリックして詳細を確認します。

このダッシュボードタイトル...	次の情報を表示します。
最近のジョブアクティビティ	最新のバックアップ、リストア、およびマウントジョブが 3~5 つ実行されています。 <ul style="list-style-type: none">• ジョブ ID をクリックすると、そのジョブの詳細が表示されます。• すべてのジョブの詳細については、[すべて表示]をクリックして[ジョブモニタ]タブに移動します。
ジョブ	選択した期間内に実行された各ジョブタイプ（バックアップ、リストア、マウント）の数。グラフのセクションにカーソルを合わせると、そのカテゴリの詳細が表示されます。

このダッシュボードタイトル...	次の情報を表示します。
最新の保護の概要	<p>選択した期間内のプライマリ VM およびセカンダリ VM またはデータストアのデータ保護ステータスの概要。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドロップダウンメニューをクリックして、* VMS * または * Datastores * を選択します。 • セカンダリストレージの場合は、* SnapVault * または * SnapMirror * を選択します。 • グラフのセクションにカーソルを合わせると、そのカテゴリの VM またはデータストアの数が表示されます。Successful カテゴリには、各リソースの最新のバックアップが表示されます。 • 設定ファイルを編集することによって、時間ウィンドウを変更できます。デフォルトは 7 日です。詳細については、を参照してください "設定をカスタマイズします"。 • 内部カウンタは、プライマリまたはセカンダリのバックアップが完了するたびに更新されます。ダッシュボードのタイトルは 6 時間ごとに更新されます。更新時間は変更できません。注：ミラーバックアップ保護ポリシーを使用している場合は、保護の概要のカウンタが SnapMirror チャートではなく SnapVault の概要チャートに表示されます。
設定	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere で管理されている各タイプのオブジェクトの総数。
ストレージ	<p>生成される Snapshot コピー、 SnapVault Snapshot コピー、 および SnapMirror Snapshot コピーの総数と、プライマリとセカンダリの Snapshot コピーに使用されるストレージの量。このグラフには、連続した 90 日間におけるプライマリとセカンダリのストレージ消費量が 1 日単位で表示されます。ストレージ情報は、24時間ごとに午前1時8分に1回更新されます</p> <p>ストレージ削減率は、プライマリストレージの物理容量に対する論理容量（ Snapshot コピーによる削減量とストレージ消費量）の比率です。棒グラフは、ストレージの削減量を示します。</p> <p>グラフ上の線にカーソルを合わせると、詳細な 1 日ごとの結果が表示されます。</p>

ジョブを監視する

VMware vSphere Clientを使用してデータ保護処理を実行したら、ダッシュボードのジョブモニタタブでジョブのステータスを監視し、ジョブの詳細を確認できます。

手順

1. vSphereクライアントの左側のナビゲーションペインで、*ダッシュボード*をクリックします。複数のvCenterがリンクモードで設定されている場合は、vCenter Serverを選択し、ダッシュボードペインの*ジョブモニタ*タブをクリックします。
[ジョブモニタ]タブには、各ジョブとそのステータス、開始時刻、および終了時刻が表示されます。ジョブ名が長い場合は、右にスクロールしないと開始時刻と終了時刻が表示されない場合があります。表示は30秒ごとに更新されます。
 - ツールバーの更新アイコンを選択して、表示をオンデマンドで更新します。
 - フィルタアイコンを選択して、表示するジョブの期間、タイプ、タグ、およびステータスを選択します。フィルタでは大文字と小文字が区別されます。
 - ジョブの実行中に表示を更新するには、[ジョブの詳細]ウィンドウで更新アイコンを選択します。

Dashboard にジョブ情報が表示されない場合は、を参照してください ["技術情報アーティクル : 「SnapCenter vSphere Client Dashboard does not display jobs」](#)。

ジョブログをダウンロードします

ジョブログは、SnapCenter VMware vSphereクライアントのダッシュボードのジョブモニタタブからダウンロードできます。

VMware vSphere Clientの使用中に予期しない動作が発生した場合は、ログファイルを使用して原因を特定し、問題を解決できます。



保持ジョブのログのデフォルト値は30日で、保持ジョブのデフォルト値は90日です。設定した保持期間よりも古いジョブログとジョブは、6時間ごとにパーズされます。設定を使用できます jobs/cleanup REST APIを使用して、ジョブとジョブログの保持期間を変更できます。パーズスケジュールは変更できません。

手順

1. vSphereクライアントの左側のナビゲーションペインで、*ダッシュボード*をクリックし、vCenter Serverを選択して、ダッシュボードペインの*ジョブモニタ*タブをクリックします。
2. ジョブモニタのタイトルバーでダウンロードアイコンを選択します。

場合によっては、右にスクロールしないとアイコンが表示されないことがあります。

ジョブをダブルクリックして [ジョブの詳細] ウィンドウにアクセスし、 [ジョブログのダウンロード] をクリックすることもできます。

結果

ジョブログは、SnapCenter VMware プラグインが導入されている Linux VM ホスト上にあります。デフォルトの場所は、です /var/log/netapp。

ジョブログをダウンロードしようとしたときに、エラーメッセージに示されている名前のログファイルが削除されている場合は、次のエラーが発生する可能性があります。HTTP ERROR 500 Problem accessing /export-scv-logs。このエラーを修正するには、という名前のファイルのファイルアクセスステータスと権限をエラーメッセージで確認し、アクセスの問題を修正します。

レポートにアクセスする

1 つ以上のジョブのレポートをダッシュボードから要求できます。

[レポート] タブには、ダッシュボードの [ジョブ] ページで選択したジョブに関する情報が表示されます。ジョブが選択されていない場合、[レポート] タブは空白になります。

手順

1. vSphereクライアントの左側のナビゲーションペインで、*ダッシュボード*をクリックし、vCenter Server を選択して*レポート*タブをクリックします。
2. バックアップレポートでは、次の操作を実行できます。

- a. レポートを変更します

フィルタアイコンを選択して、期間、ジョブステータスタイプ、リソースグループ、およびレポートに含めるポリシーを変更します。

- b. 詳細レポートを生成します

任意のジョブをダブルクリックして、そのジョブの詳細レポートを生成します。

3. オプション: [レポート] タブで、[*ダウンロード*] をクリックし、形式 (HTML または CSV) を選択します。

ダウンロードアイコンをクリックしてプラグインのログをダウンロードすることもできます。

VMware vSphere Clientからのレポートのタイプ

VMware vSphere Client for SnapCenter にはカスタマイズ可能なレポートオプションが用意されており、データ保護ジョブやプラグインリソースのステータスに関する詳細を確認できます。レポートを生成できるのはプライマリ保護のみです。



バックアップスケジュールは、SnapCenter VMware プラグインが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenter では、vCenter が配置されているタイムゾーンでデータが報告されます。そのため、SnapCenter VMware プラグインとvCenterが異なるタイムゾーンにある場合は、VMware vSphere Client Dashboardのデータがレポートのデータと同じではない可能性があります。

ダッシュボードには、移行後のバックアップの実行後に、移行済みのバックアップに関する情報が表示されません。

レポートタイプ	説明
バックアップレポート	<p>バックアップジョブに関する概要データを表示します。グラフ上のセクション / ステータスをクリックすると、そのステータスのジョブのリストが [* レポート *] タブに表示されます。</p> <p>ジョブごとに、ジョブ ID、対応するリソースグループ、バックアップポリシー、開始時刻と期間、ステータス、およびジョブの詳細が表示されます。これには、ジョブ名 (Snapshot コピー名) が含まれます (ジョブが完了した場合)。また、警告またはエラーメッセージも含まれます。</p> <p>レポートテーブルは、HTML 形式または CSV 形式でダウンロードできます。また、(レポートのジョブだけでなく) すべてのジョブのジョブ監視ジョブログもダウンロードできます。 削除されたバックアップはレポートに含まれません。</p>
マウントレポート	<p>マウントジョブに関する概要データを表示します。グラフ上のセクション / ステータスをクリックすると、そのステータスのジョブのリストが [レポート] タブに表示されます。</p> <p>レポートには、各ジョブについて、ジョブ ID、ジョブステータス、ジョブ名、およびジョブの開始時刻と終了時刻が表示されます。ジョブ名には Snapshot コピー名が含まれています。</p> <p>例：Mount Backup <snapshot-copy-name></p> <p>レポートテーブルは、HTML 形式または CSV 形式でダウンロードできます。</p> <p>また、(レポートのジョブだけでなく) すべてのジョブのジョブ監視ジョブログもダウンロードできます。</p>
リストアレポート	<p>リストアジョブに関する概要ステータス情報を表示します。グラフ上のセクション / ステータスをクリックすると、そのステータスのジョブのリストが [レポート] タブに表示されます。</p> <p>レポートには、各ジョブについて、ジョブ ID、ジョブステータス、ジョブ名、およびジョブの開始時刻と終了時刻が表示されます。ジョブ名には Snapshot コピー名が含まれています。例：Restore Backup <snapshot-copy-name></p> <p>レポートテーブルは、HTML 形式または CSV 形式でダウンロードできます。また、(レポートのジョブだけでなく) すべてのジョブのジョブ監視ジョブログもダウンロードできます。</p>

レポートタイプ	説明
<p>の前の保護ステータス VMまたはデータストアレポート</p>	<p>SnapCenter VMware プラグインで管理されている VM とデータストアについて、設定された日数内の保護ステータスに関する概要情報が表示されます。デフォルトは 7 日です。プロパティファイルの値を変更するには、を参照してください "設定のデフォルト値を変更します"。</p> <p>プライマリ保護グラフでセクション / ステータスをクリックすると、そのステータスの VM またはデータストアのリストが * Reports * タブに表示されます。</p> <p>保護対象の VM / データストアの保護ステータスレポートには、設定した日数内にバックアップされた VM またはデータストアの名前、最新の Snapshot コピーの名前、および最新のバックアップの実行の開始時刻と終了時刻が表示されます。</p> <p>保護されていない VM またはデータストアの保護ステータスレポートには、設定された日数内に正常にバックアップされなかった VM またはデータストアの名前が表示されます。</p> <p>レポートテーブルは、HTML 形式または CSV 形式でダウンロードできます。また、（レポートのジョブだけでなく）すべてのジョブのジョブ監視ジョブログもダウンロードできます。このレポートは、プラグインキャッシュが更新されるたびに 1 時間ごとに更新されます。そのため、レポートに最近バックアップされた VM やデータストアが表示されないことがあります。</p>

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUI からサポートバンドルを生成

作業を開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の管理 GUI にログインするには、IP アドレスとログインクレデンシャルが必要です。また、メンテナンスコンソールから生成された MFA トークンもメモしておく必要があります。

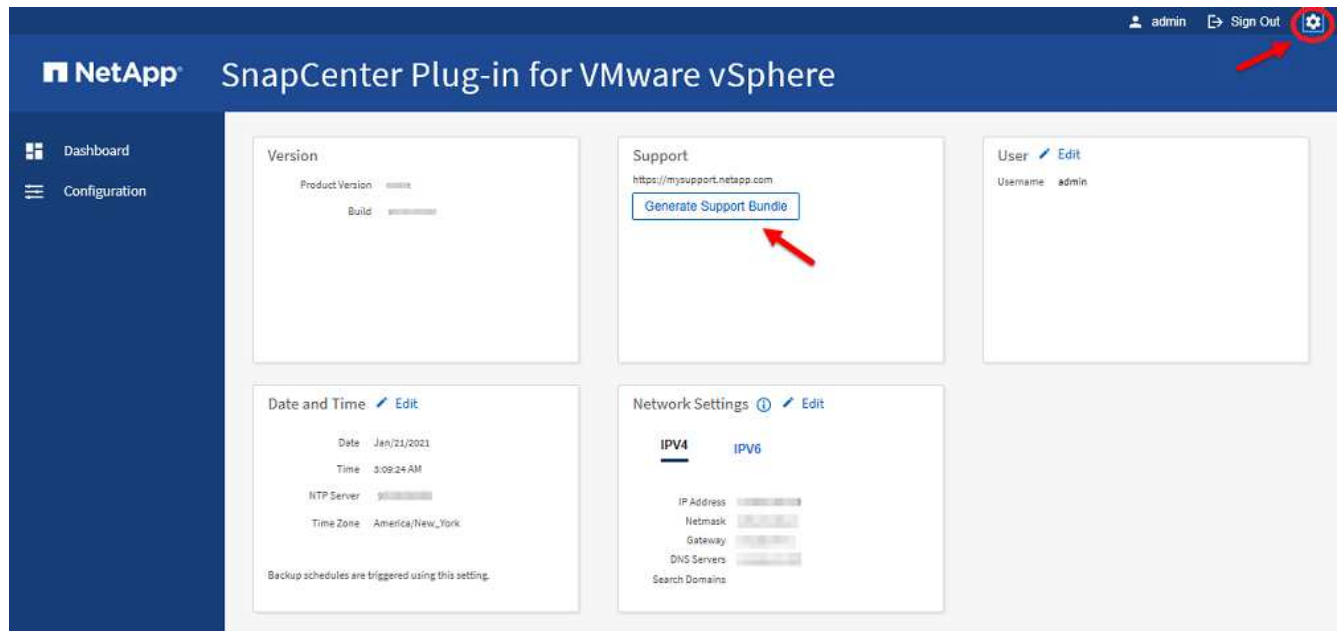
- SnapCenter VMware プラグインを導入したときに表示された IP アドレスです。
- SnapCenter VMware プラグインの導入時に提供された、またはあとから変更されたログインクレデンシャルを使用してください。
- メンテナンスコンソールの[System Configuration]オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere GUI にログインします。

の形式を使用します <https://<OVA-IP-address>:8080>。

2. 上部のツールバーの [設定] アイコンをクリックします。



3. [* 設定 *] ページの [* サポート *] セクションで、[* サポート * バンドルの生成] をクリックします。
4. サポートバンドルが生成されたら、表示されたリンクをクリックしてネットアップにバンドルをダウンロードします。

メンテナンスコンソールからサポートバンドルを生成する

手順

1. VMware vSphere Clientで、SnapCenter VMwareプラグインが配置されているVMを選択します。
2. 仮想マシンを右クリックし、仮想アプライアンスの*サマリ*タブで*リモートコンソールの起動またはWebコンソールの起動*をクリックしてメンテナンスコンソールウィンドウを開き、ログオンします。

にアクセスしてメンテナンスコンソールにログオンする方法については、[を参照してください](#)
"[Maintenance Consoleにアクセスします](#)"。

```
VMware Remote Console
VMRC | || |
Maintenance Console : "SnapCenter Plug-in for VMware vSphere"
Discovered interfaces: eth0 (ENABLED)
Main Menu:
-----
 1 ) Application Configuration
 2 ) System Configuration
 3 ) Network Configuration
 4 ) Support and Diagnostics

 x ) Exit

Enter your choice: _
```

3. メインメニューから、オプション * 4) Support and Diagnostics * と入力します。
4. Support and Diagnostics (サポートおよび診断) メニューから、オプション * 1) Generate support bundle (サポートバンドルの生成) と入力します。 *

サポートバンドルにアクセスするには、[サポートと診断 (Support and Diagnostics)]メニューでオプション * 2) 診断シェルへのアクセス * を入力します。コンソールで、に移動します
/support/support/<bundle_name>.tar.gz。

監査ログ

監査ログは、イベントを時間順にまとめたもので、アプライアンス内のファイルに書き込まれます。監査ログファイルは、に生成されます /var/log/netapp/audit 場所とファイル名は、次のいずれかの命名規則に従っています。

- audit.log : 使用中のアクティブな監査ログファイルです。
- 監査-%d {yyyy-mm-dd-HH - mm -ss} 。log.gz : 監査ログファイルをロールオーバーします。ファイル名に含まれる日時は、ファイルが作成された日時を示します。例：audit-2022 -12-15-16-28-01-log.gz

SCVプラグインのユーザインターフェイスでは、から監査ログの詳細を表示およびエクスポートできます
[ダッシュボード]>*>[監査ログ]*タブ
処理の監査は監査ログで確認できます。監査ログは、サポートバンドルを使用してダウンロードされます。

Eメールが設定されている場合、SCVは監査ログ整合性検証に失敗したときにEメール通知を送信します。監査ログ整合性検証のエラーは、ファイルの1つが改ざんまたは削除されたときに発生する可能性があります。

監査ファイルのデフォルトの設定は次のとおりです。

- 使用中の監査ログファイルは最大で10MBまで拡張できます
- 最大10個の監査ログファイルが保持されます

デフォルト設定を変更するには、`/opt/netapp/scvservice/standalone_aegis/etc/scbr/scbr.properties`にキー値のペアを追加し、`scvservice`を再起動します。

監査ログファイルの設定は次のとおりです。

- `<xx>`。xxは監査ログファイルのロールオーバーの最大数です。例：`auditMaxROFiles=15`。
- `auditLogSize =<XX> MB`。xxはMB単位のファイルのサイズです。例：`auditLogSize = 15MB`。

ロールオーバーされた監査ログは、定期的に整合性が検証されます。SCVは、ログを確認して整合性を検証するためのREST APIを提供します。組み込みのスケジュールがトリガーされ、次のいずれかの整合性ステータスが割り当てられます。

ステータス	説明
改ざんされた	監査ログファイルの内容が変更されました
正常	監査ログファイルは変更されていません
ロールオーバー削除	-監査ログファイルは保持期間に基づいて削除されます -デフォルトでは、10個のファイルのみが保持されます
予期しない削除です	監査ログファイルが削除されました
アクティブ	-監査ログファイルが使用中です - <code>audit.log</code> にのみ適用されます

イベントは、次の3つの主要カテゴリに分類されます。

- データ保護イベント
- メンテナンスコンソールイベント
- Admin Consoleイベント

データ保護イベント

SCVのリソースは次のとおりです。

- ストレージシステム
- リソースグループ
- ポリシー
- バックアップ

次の表に、各リソースに対して実行できる操作を示します。

リソース	処理
ストレージシステム	作成済み、変更済み、削除済み

リソースグループ	作成、変更、削除、一時停止、再開
ポリシー	作成済み、変更済み、削除済み
バックアップ	作成、名前変更、削除、マウント、アンマウント、VMDK、リストアされたVM、VMDKの接続、VMDKの切断、ゲストファイルのリストアをリストア

メンテナンスコンソールイベント

メンテナンスコンソールでの管理操作が監査されます。
使用可能なメンテナンスコンソールのオプションは次のとおりです。

1. サービスを開始/停止します
2. ユーザ名とパスワードを変更します
3. MySQLパスワードを変更します
4. MySQLバックアップを設定します
5. MySQLバックアップをリストアします
6. 「maint」ユーザのパスワードを変更します
7. タイムゾーンを変更します
8. NTPサーバを変更します
9. SSHアクセスを無効にします
10. jailディスクサイズを拡張する
11. アップグレード
12. VMware Toolsのインストール（これをopen-VMツールに置き換える作業を進めています）
13. IPアドレスの設定を変更します
14. ドメイン名検索設定を変更します
15. 静的ルートを変更します
16. 診断シェルにアクセスします
17. リモート診断アクセスを有効にします

Admin Consoleイベント

管理コンソールUIでは、次の操作が監査されます。

- 設定
 - adminクレデンシャルを変更
 - タイムゾーンを変更します
 - NTPサーバを変更します
 - IPv4/IPv6設定を変更します

- 設定
 - vCenterクレデンシャルを変更します
 - プラグインの有効化/無効化

syslogサーバを設定します

監査ログはアプライアンス内に保存され、定期的に整合性が検証されます。イベント転送を使用すると、は、ソースコンピュータまたは転送コンピュータからイベントを取得し、一元化されたコンピュータ（Syslogサーバ）に保存できます。データは、ソースとデスティネーションの間で転送中に暗号化されます。

作業を開始する前に
管理者権限が必要です。

このタスクについて
このタスクは、syslogサーバの設定に役立ちます。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereにログインします。
2. 左側のナビゲーションペインで、**[設定]>*>[設定]***を選択します。
3. ペインで、**[監査ログをsyslogサーバに送信]***を選択します
4. 次の詳細を入力します。
 - syslogサーバのIP
 - syslogサーバのポート
 - RFC形式
 - syslogサーバ証明書
5. **[保存]***をクリックして、syslogサーバの設定を保存します。

監査ログの設定を変更します

ログ設定のデフォルト構成を変更できます。

作業を開始する前に
管理者権限が必要です。

このタスクについて
このタスクは、デフォルトの監査ログ設定を変更する場合に役立ちます。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereにログインします。
2. 左側のナビゲーションペインで、**[設定]>*>[設定]***を選択します。
3. **[監査ログの設定]**ペインで、必要に応じて*と**[監査ログのサイズ制限]***を入力します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。